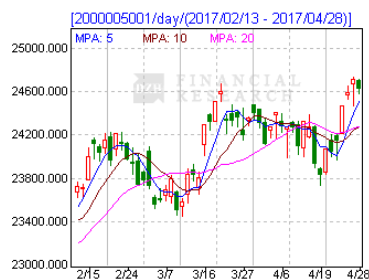




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	20,940.51	-40.82	-0.19	1.91	5.96	19,762.60
NASDAQ	6,047.61	-1.33	-0.02	2.32	12.34	5,383.12
日経225	19,196.74	-55.13	-0.29	3.09	0.43	19,114.37
上海総合	3,154.66	2.47	0.08	-0.58	1.64	3,103.64
滬深300(CSI300)	3,439.75	-6.97	-0.20	-0.78	3.92	3,310.08
ハンセン	24,615.13	-83.35	-0.34	2.38	11.88	22,000.56
H株	10,219.89	-41.36	-0.40	1.69	8.78	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.4%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は0.6%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.4%高と3週ぶりに反発した。欧州の政治不安や北朝鮮問題を巡る警戒感の後退を受けて地合いが改善。中国で金融機関に対する引き締め強化の動きが強まっていることが重しとなったが、ハンセン指数は27日まで4日続伸。27日には15年7月以来1年9カ月ぶり高値を付けた。本土市場では上海総合指数が週間で0.6%安と3週続落。金融当局による監視強化の動きが意識され、上海総合指数は週初に大きく落ち込んだものの、その後は徐々に持ち直す展開となった。

今週の展望:香港市場は手控えムードの強い展開か、休日挟み3日間の取引

香港市場は手控えムードの強い展開か。北朝鮮を巡る地政学リスクがくすぶる中、今週はメーデーと仏誕節の休日を挟み取引日が3日間しかなく、7日には仏大統領選の決選投票も控える。本土市場で金融当局による引き締めの動きが強まっていることも懸念材料で、地合い自体は悪くないものの積極的に上値を追っていく材料は乏しい。一方、本土市場は1日がメーデーで休みのため4日間の取引。金融引き締めの動きや4月の製造業PMIが市場予想を下回ったことがマイナス材料だが、節目水準では底堅い展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 AIAグループ(01299)	53.85	8.24
2 瑞声科技(02018)	114.20	7.74
3 長江インフラ(01038)	68.15	7.49
4 長江和記実業(00001)	97.15	4.29
5 中国平安保険(02318)	43.80	4.29
6 中国人寿保険(02628)	23.65	4.19
7 恒隆地産(00101)	20.40	3.76
8 中銀香港(02388)	32.00	3.73
9 電能実業(00006)	70.00	3.70
10 東亜銀行(00023)	32.20	3.37

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	10.50	-9.17
2 サンス・チャイ(01928)	35.30	-1.94
3 チャイ・ユコム(00762)	10.04	-1.57
4 昆侖能源(00135)	7.03	-1.54
5 レノグループ(00992)	4.98	-1.39
6 恒安国際集団(01044)	58.20	-1.10
7 チャイ・モバイル(00941)	82.95	-1.07
8 中国海外発展(00688)	22.60	-0.88
9 ベトロチャイ(00857)	5.48	-0.72
10		

▼今週の主なイベント

- 5月1日(月) 【香港・中国】メーデーのため休場
- 5月2日(火) 【米国】FOMC(～3日)
- 5月3日(水) 【香港】仏誕節のため休場

▼今週の期待材料

- ◆中国A株企業の1-3月期決算は売上高が全体で前年同期比21%増、純利益は25%増と好調
- ◆5月中旬に中国で一带一路サミットが開催、開催を前に関連銘柄に物色の矛先が向かう可能性も
- ◆中国人民銀行による公開市場操作で先週は差し引き700億元の資金を供給、資金供給は3週連続

▼今週の懸念材料

- ◆朝鮮半島情勢を巡り地政学リスクくすぶる、韓国大統領選を前に北朝鮮がさらなる挑発に出る可能性も
- ◆中国金融当局が相次いで引き締め強化の動き、市場の流動性低下への警戒感が強まる公算
- ◆中国の4月の製造業PMIは51.2と4カ月ぶりに低下、市場予想の51.8を大幅に下回る

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 江西銅業(00358): 1-3月期決算は純利益2.7倍、自社予想上回る
- ☆ 中国神華能源(01088): 1-3月期決算は石炭価格上昇で純利益2.7倍に拡大
- ☆ 百麗国際(01880): 経営陣と投資会社が株式非公開化を計画、約20%のプレミアム
- ☆ 中遠海運控股(01919): 1-3月期決算は黒字転換、売上高は48%増
- ☆ 広州汽車集団(02238): 1-3月期決算は66%増収、99%増益と大幅な増収増益
- ☆ 招商証券(06099): 1-3月期決算は営業収益が18%増加、純利益は18%増
- ◇ 中国農業銀行(01288): 1-3月期決算は2%増益、小幅増益確保も市場予想下回る
- ★ HSBC(00005): 4日に1-3月期決算を発表、市場予想は36%減益
- ★ 澳門博彩控股(00880): 4日に1-3月期決算を発表、市場予想は16%減益
- ★ BYD(01211): 1-3月期決算は29%減益、6月中間決算は20-31%減益の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。